

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 (13-7)

団体名	特定非営利活動法人 兵庫SPO支援センター	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 李 貫一
事業名	不登校及び困窮児童生徒家族の居場所づくりと支援会議の設置		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(ス タッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月～2月	洲本市教育委員会	(3)	連携打ち合わせ(2カ月に1回程度)
4月～2月	洲本市社会福祉協議会福祉会館	1(1)	洲本市社会福祉協議会事務局長と随時連携(3か月に1回程度)
8月10日・24日	洲本商工会議所多目的ホール	5(10)	高校生・教育大学生が小学生の夏休みの宿題をサポート 「夏休みの宿題をやっつける!」として、10日と24日の2回実施。 サポート:兵庫教育大学生と県立洲本高校生
9月10日、10月7日、11月11日、12月23日	洲本商工会議所多目的ホール	1(4)	学習支援 勉強についていけない子どものための学習支援
同日	洲本商工会議所会議室	1(4)	保護者交流会 講師:笹倉千佳弘氏(滋賀短期大学教授)
9月25日	洲本市役所会議室	35(1)	洲本市小中学校校長会にて「子どもの居場所」について説明
10月11日	洲本市青少年センター	1(2)	適応教室を運営している青少年センターにて、センター長と面談、打ち合わせ。
10月12日	淡路県民局	3(1)	県民局との連携・打ち合わせ
10月26日	淡路県民局	30(1)	子ども支援に関わる人たちが集まった研修の会場で「子どもの居場所」について説明
11月18日	洲本商工会議所大ホール	14(6)	セミナー「地域協働型子ども包括支援の実績報告 ~早期から切れ目のない支援を目指して~」 講師:李炯植氏(認定NPO法人Learning for All代表理事)
1月20日	コモード商店街 レインボー広場	80(7)	ジャズコンサート&瓦割イベント 子ども支援のアピールイベント
1月21日	洲本商工会議所 当法人事務所	3(1)	今後の野外研修について打ち合わせ

< 効果と成果 >

採択意見をまさに身に染みて実感する今年度の取り組みでした。関係機関と連携を試みるものの、ターゲットが課題を抱える個人であり、そのターゲットにたどり着く難しさを感じました。

広報等の協力は教育委員会等で行っていただけのもの、当然ながら課題を抱えている子どもや家族に届くかは不確定ななかで、取り組みが開始され、うまくターゲットにたどり着くことができませんでした。

ご指摘のように継続的な「場」を設け、一定のスタンスを確立しないと難しい状況でした。

(効果)

学習支援や保護者交流会の広報を通して、少しずつ認識され、2月20日の「洲本子ども第三の居場所」オープンに合わせ、各種メディアが報道してくれたことから、問い合わせの電話や見学希望者が増え、目に見えるかたちとなってきました。この1年間の取り組みで、関係機関との関係構築と地域にベースを創ることができました。

(成果)

洲本市教育委員会、洲本市福祉課、洲本市社会福祉協議会、商工会議所、洲本高校ボランティアグループ、町内会、商店街等と関係構築を創ることができた。

とくに洲本高校生とは常に共に取り組むかたちができている。

< 今後の展望 >

今年度の取り組みでは関係機関との関係構築面は成果があり、ベースとしての取り組みができたと認識している。今年2月に実際の「子ども第三の居場所」を設置できたことで、ターゲットがつながり始めており、「地域で支える」との実現に向けて、子どもを中心とした地域イベントの開催や、今年度集まらなかった「保護者交流会」を日常的な「場」を通じて実現していきたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	5 0 0 , 0 0 0
自己負担	2 9 5 , 9 0 8
合計	7 9 5 , 9 0 8

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	人件費	2 5 4 , 5 3 4	2 5 4 , 5 3 4
	車両費	1 8 6 , 3 7 7	1 7 6 , 9 7 7
	旅費交通費	1 8 5 , 1 0 6	1 8 5 , 1 0 6

	その他（会場費等）	135,867	42,200
	小 計	761,884	500,000
	間接経費（一般管理費）	34,024	0
	合 計	795,908	500,000